

誰もがいつまでも
健やかに暮らせるまちづくり



上野焼春の陶器まつり

1. 互いに支え合う福祉の推進

(1) 高齢者が生涯にわたって安心して暮らせる環境づくり

我が国では65歳以上の人口が2042年で約3900万人のピークを迎え、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降は、国民の医療や介護需要のさらなる増加が見込まれています。このような状況の中、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築が重要になっています。福智町では、在宅で生活できるように、介護予防や在宅福祉サービス、生きがいづくりの充実に取り組んできました。今後も地域包括ケアシステムの深化、推進により、高齢者が生涯にわたって住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

※在宅介護支援センター▶地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整を行う機関。社会福祉士・看護師などの専門職員が在宅介護などに関する総合的な相談に応じる。

※生活支援コーディネーター▶高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進を目的に、地域での資源開発やネットワーク構築などのコーディネート機能を果たす人材。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 第6期福智町高齢者福祉計画の推進【保健】
- ② 介護予防、地域支援事業の拡充【保健】
- ③ 在宅サービスの充実と支援体制の強化【保健】
- ④ 福智町老人クラブ連合会の運営支援【福祉】
- ⑤ ケアマネジャー等の研修の体系化【保健】
- ⑥ 独居高齢者への対応【保健】
- ⑦ 在宅介護支援センター*3カ所の委託に伴う家庭訪問の強化【保健】
- ⑧ 町社会福祉協議会委託による生活支援コーディネーター*の配置【保健】

2 現在の問題点

- ① 介護、医療、住まい、介護予防、生活支援の充実に向けた地域包括ケアシステムの構築【保健】
- ② 要支援、要介護状態のサポートとともに、介護予防に力点を置いた事業の推進【保健】
- ③ 福智町老人クラブ連合会の組織および事業運営の見直し【福祉】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 第7期福智町高齢者福祉計画の推進【保健】
- ② 地域包括ケアシステムの深化、推進【保健】
- ③ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進【保健】
- ④ 地域包括支援センターの機能強化【保健】
- ⑤ 在宅医療と介護連携の推進【保健】
- ⑥ 福智町老人クラブ連合会の活性化【福祉】

(2) 認知症対策の強化推進

高齢化が進むとともに増加していく認知症の課題解決に向け、公的サービスのみならず、地域住民相互の支え合いが重要となっています。福智町では、認知症への早期対応や予防活動にも取り組んでいますが、本人や家族へのさらなる支援の充実が必要です。今後も認知症への理解を深めながら、地域での見守りの体制の強化を図ります。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 介護予防、生きがい支援事業の推進【保健】
- ② キャラバン・メイト*の推進【保健】
- ③ コミュニティカフェ*と併用した認知症カフェ*の実施【保健】
- ④ 認知症サポーター*の養成【保健】

2 現在の問題点

- ① 認知症ケアバスの作成、早期診断、早期対応、医療サービスと介護サービスの構築【保健】
- ② 家庭生活と地域支援の施策推進および体制づくりと課題対応【保健】
- ③ 認知症の人や家族への支援および認知症予防施策の推進と周知徹底【保健】
- ④ 家族のいない人や独居高齢者への対応【保健】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 認知症初期集中支援事業の推進【保健】
- ② 認知症地域支援・ケア向上事業の推進【保健】
- ③ 成年後見制度*の推進【保健】
- ④ 要介護者の権利擁護、虐待防止の推進【保健】
- ⑤ 認知症サポーターの養成【保健】

※キャラバン・メイト▶認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法などを伝える講師役で、認知症サポーターを養成する人。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けて、関係機関、組織、団体等へのはたらきかけや協力・連携体制づくり、ネットワーク化を推進していくことも期待されています。

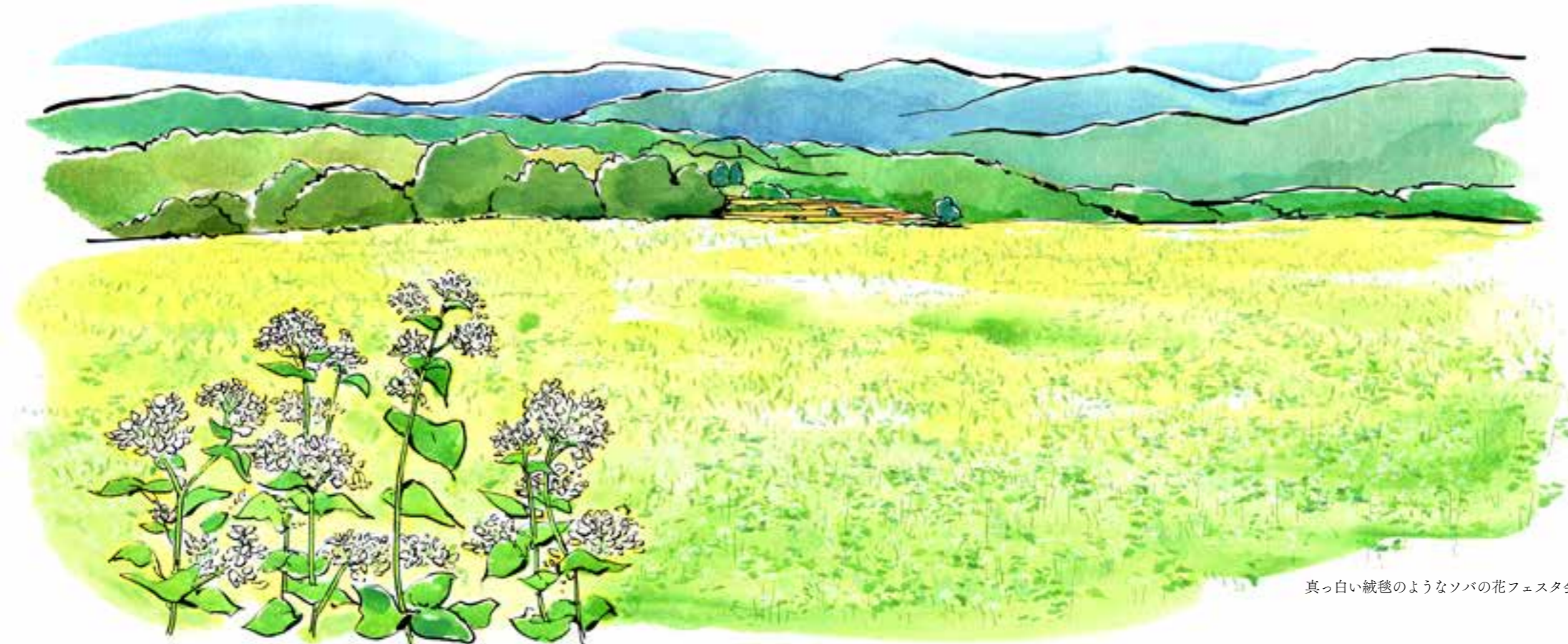
※コミュニティカフェ▶地域の人が集まる居場所を提供することを主な目的とした事業。孤独死など人間関係の薄まりが社会問題になる中、その解決を目指すNPO法人などから注目され、全国的に広まっている。

※認知症サポーター▶認知症に対して正しく理解し、認知症の人やその家族を見守るサポーター。

※認知症カフェ▶認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を旨とした活動などのできる場所。

※認知症ケアバス▶認知症の人とその家族が、地域の中で本来の生活を営むために、地域・医療・介護の人々が目標を共有し、それを達成するための連携の仕組み。

※成年後見制度▶未成年者を保護する未成年後見に対して、判断能力の不十分な成年人(認知症高齢者、知的障害者、精神障害者)を保護するための制度。自己決定権の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーションの理念構築が目的。



真っ白い絨毯のようなソバの花フェスタ会場

1. 互いに支え合う福祉の推進

(3) 障がいのある人が安心して暮らせるサポートの充実

障がいが地域で安心して生活を送るためには、保健、医療、療育、就労等、生活支援に関するさまざまな生活基盤の充実が必要です。また、発達障がいの増加や障がい者の高齢化などによって多様化する障がい者福祉のニーズに対応した支援が求められています。福智町では、障がいの程度に合ったサービスの提供により地域での暮らしを支援してきました。今後も障がい者に対して誰もが思いやりを持ち、地域で安心して暮らせる共生社会の実現を推進します。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 第4期福智町障害福祉計画の策定および推進【福祉】
- ② 障がい福祉サービスの提供および充実【福祉】
- ③ 重度障害者医療の所得制限の廃止および外来一部負担金無料化の実施【住民】

2 現在の問題点

- ① 第5期福智町障がい福祉計画の策定(平成30年～平成32年)【福祉】
- ② 障害者差別解消法施行に伴う対応(地域協議会の設置)【福祉】
- ③ 医療費助成の財源の確保【住民】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 第5期福智町障がい福祉計画の策定および推進【福祉】
- ② 第1期福智町障がい児福祉計画の策定および推進【福祉】
- ③ 田川地区障がい者差別解消支援地域協議会の設立および運営【福祉】
- ④ 子ども発達支援センターの広域開設の検討【福祉】
- ⑤ 重度障害者医療費助成の継続【住民】

2. 生涯を通じて健康に暮らせる保健医療の推進

(1) 生涯にわたる切れ目のない健康づくりの支援

食生活の変化や運動不足、ストレス等により、生活習慣病が増加するなど、健康づくりに関する課題も変化し、多様化しています。健康を保つためには、ライフステージに応じたきめ細やかな取り組みが重要です。福智町では、健康増進計画をもとに、予防活動、指導、啓発活動などに取り組んできました。今後も住民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、疾病予防を心がけ、心身ともにいきいきと健康的な生活が送れる環境づくりを推進します。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 健康づくり推進協議会の発足と健康増進計画の策定および推進【保健】
- ② 特定健診における個人負担金無料化の実現【住民】
- ③ 町独自の任意予防接種に対する助成制度の実施【保健】
- ④ 健診および事後指導の充実等生活習慣病予防や重症化予防の実施【保健】
- ⑤ 食生活改善推進員および運動普及推進員等の活動支援【保健】
- ⑥ 第2期特定健診等実施計画、データヘルス計画の策定および推進【保健】【住民】
- ⑦ 新型インフルエンザ行動計画の策定【保健】【総務】
- ⑧ 広報啓発の推進による健康に関する町民意識の醸成【保健】

2 現在の問題点

- ① 育児、介護、障がい、貧困などによる世帯状況の複雑化・多様化に伴う、専門職の人材確保と育成【保健】
- ② 国民健康保険制度改革に対するきめ細やかな周知と事業運営の実施【住民】
- ③ 事務の標準化、将来的な保険料率の統一等、広域化後の国民健康保険事業の円滑化【住民】
- ④ 家庭、学校、地域、関係機関等と協働した健康づくりを支援する環境づくりの構築【保健】【学校教育】【生涯学習】【まちづくり】
- ⑤ 40代、50代の壮年期の健康への関心が薄い【保健】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 健康増進計画の推進【保健】
- ② 国民健康保険制度改革*の周知および円滑な施行【住民】
- ③ 保健事業実施計画(データヘルス計画)の策定および推進【住民】【保健】
- ④ 感染症の発生予防およびまん延防止対策の推進【保健】
- ⑤ 健康危機管理体制の整備【保健】【総務】

※ 国民健康保険制度改革▶国民皆保険制度の実現のため、市町村国保の財政を県単位化することで、安定的な財政運営を目指し、市町村事務の効率化・標準化・広域化を推進する制度改革。



山肌に咲き誇る梨園の花

(2) 地域医療の推進と充実

住 民の健康を守るためには、地域医療の提供体制を維持・発展させることが重要です。町立コスモス診療所、町立方城診療所を引き継ぐ福智町では、町立診療所、行政、医師会などが連携し、地域医療に取り組んできました。今後も医療ニーズの高度化、多様化に対応するため、地域医療体制の充実に努めます。

1 5年間で取り組んできたこと

- ① 町立診療所の一次医療機関（初期・軽症）としての機能達成【診療所】
- ② 二次医療機関（中症）、三次医療機関（重症・高度救命救急センター）との連携強化
およびきめ細かな対応【診療所】

2 現在の問題点

- ① 医師の確保と診療所施設の整備【診療所】
- ② かかりつけ医を持つなど適正な医療機関の受診の徹底【診療所】

3 今後5年間で取り組むこと

- ① 地域医療連携事業の推進【診療所】
- ② 医師確保対策事業の推進【診療所】
- ③ 田川地区休日救急医療センターや病院群輪番制の明確化による休日・夜間医療体制の充実【保健】
- ④ 医療機関や消防署など関係機関による救急医療体制の充実【保健】



保健・福祉・医療の複合施設、コスモス保健センター